

登録コード	F3A58230	開講年度	2026				
授業科目	感性デザイン工学（24F～）					担当教員	長尾 幸郎
英文授業名	Kansei Design Engineering					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	
講義室	繊維111番講義室	繊維共通ゼミ	物理実験1	授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	24Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリラム対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力					演習にて市場調査、アイデア発想と展開、コンセプト構築とビジュアル化の創造的能力を養う。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	講義と演習を並行して行います。演習はグループワーク、個人ワーク、プレゼンテーションを行い、製品企画に関する能力を高めていきます。 製品企画とデザイン活動の豊富な経験のある教員が実務経験を活かして製品企画提案の講義を行います。						
(5)授業計画	■ ■ 100分授業14回で行います ■ ■ 《マーケティング基礎と市場調査》 第 1 回 ガイダンス、製品企画の基礎 第 2 回 ユーザー調査と演習 第 3 回 市場調査の実践 第 4 回 製品企画の実践（ヤッホーブルーイング） 第 5 回 市場調査演習 《未来洞察＆スペキュラティブデザイン》 第 6 回 未来洞察、市場調査 第 7 回 コンセプトとデザイン提案 《デザイン思考》 第 8 回 デザイン思考、市場調査 第 9 回 コンセプトとデザイン提案 《User Experience（UX）デザイン》 第10回 UXデザイン、市場調査 第11回 コンセプトとデザイン提案 《サービスデザイン》 第12回 サービスデザイン、デザイン提案 《デザイン・ドリブン・イノベーション(DDI)》 第13回 DDI、市場調査 第14回 感性とデザイン、まとめ						
(6)成績評価の方法	グループワーク、個人課題、プレゼンテーションで評価します。 講義中の演習及び講義後の小課題が多いので14回の講義への出席を求めます。 尚、期末試験は実施しません。						
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容	演習を6回行い、事後課題を出しますので指定期日までに提出して下さい。 この授業は90 時間の学修を必要とする内容です。従って60 時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	演習では、グループワークと個人ワークを並行して行います。どちらにも積極的に取り組んで企画力を高めて下さい。						
(10)質問、相談への対応	個別の質問、相談に対応しますので下記アドレスに連絡下さい。 研究室：H棟502号室 メールアドレス：y_nagao@shinshu-u.ac.jp						
(11)学生へのメッセージ	実社会では独創的な企画提案力がより求められる時代になっています。 代表的な企画提案の方法論を学びながら、各演習により自らの視点で具体的にアウトプットすることに慣れていって下さい。						
(12)その他							
【教科書】	教科書は使用しません。 講義資料は講義後にアップします。						
【参考書】	講義資料に適宜参考テキストを記載します。						